



初等部だより 7月号

鎌倉女子大学初等部

令和2年7月10日

第4号

これからの学校生活

部長 勝木 茂

6月15日(月)よりの全学年全員登校も今週末7月10日(金)で4週間経過となります。長い間の自粛生活の様々な影響を心配しながら、学校を再開してきましたが、梅雨時の雨が一時的に止んでいる中休みや昼休みに、所狭しと初等部グラウンド、第一グラウンドで遊ぶ初等部生を見るにつけ少し安心しているところです。一年生の午後授業も始まり、昼休み少し遠慮がちに一年生もグラウンドに出て遊びはじめました。もちろん個人差は大きいと思われまますので、内面も含めた子どもたちの様子を引き続き見守っていきたくて考えています。保護者の皆様のご理解とご協力を今後ともよろしくお願いいたします。



【中休みに遊ぶ初等部生】

さて、このところの首都圏をはじめとする新型コロナウイルス感染者が増加傾向にあることが連日報道されています。新型コロナウイルス感染拡大防止については長期戦を覚悟する必要があると思います。文部科学省からも「学校再開ガイドライン」や「学校の新しい生活様式」等が出されていますが、初等部においても、感染症予防や拡大防止を第一に考えた学校生活、教育活動を行っていくことが重要だと考えております。授業の実施方法についても、例えば、共通で使うもの(楽器や実験用具)をいつどのように消毒していくのか、使った場合の子どもたちの手洗い等の徹底はどのように図っていくのか、これらを全職員が共通に理解し確実に実施しなければなりません。今までと同じような授業形態にとらわれず、例えば、少人数指導場面を意図的に増

やす、必要に応じて家庭での映像授業の視聴を組み合わせる等、柔軟な指導方法をとっていきたくて考えています。また、いわゆる第二波、第三波が来た時には、どのように授業を実施し、子どもたちの学習の遅れを回避していくのかも準備しておく必要があります。いずれにしてもいくつかの授業実施方法や実施形態を確立しておくことが不可欠だと考えます。

しかしながら、現時点では実施が困難なものもあります。たくさんの方が室内に集まるもの、活動の特性上3密回避が難しいもの等については、今年度は実施しないこと(中止)といたします。すでにお知らせしました、みどり祭のほか、本日、3～5年生の保護者の皆様には別紙にてお知らせいたしましたように、3～5年生の宿泊体験学習についても中止とさせていただきます。宿泊体験学習を通して子どもたちに学ばせたい「集団の一員としての自覚」や「人間関係など集団生活の在り方や公衆道徳などについての望ましい体験」については、別の場面にて指導していきたくて考えています。

また、授業参観や保護者会の実施方法についても、一回当たりの参加者を少なくするため、分散型とする、実施時間を短くする、広く換気の可能な場所で行う等の工夫が必要だと考えます。感染の拡大状況等にもよりますが、二学期になりましたら、新しい形での授業参観、保護者会を行う予定としております。どうぞご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。



【集中して学習している新一年生】